

## 第1065回教育委員会会議録

1 日 時 平成29年8月17日(木) 午後2時00分～午後2時40分

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 東村教育長 吉井委員 清川委員 西野委員 八田委員  
松田教育振興監 佐々木学校教育幹 淵本企画幹(義務教育)  
片柳教育政策課長 清川高校教育課長

### 4 議 題

日程第1 第9号議案 平成30年度福井県立高等学校入学者選抜実施要項等  
(定員等を除く)の制定について

### 5 審議事項

(1) 開会宣告 午後2時00分

(2) 会議録署名人の指名 清川委員 八田委員

(3) 議事要録

教育長 日程第1、第9号議案を議題とする。

高校教育課長 平成30年度福井県立高等学校入学者選抜実施要項等(定員等を除く)を  
制定したいので、この案を提出する。

(資料1に基づき説明する。)

八田委員 インフルエンザで受験できなかった生徒はどれくらいか。

学校教育幹 ここ3年間、インフルエンザで受けられなかった生徒は0である。インフル  
エンザにかかっているが、薬で熱を下げて、別室で受験した生徒は各高校で1  
名程度である。

吉井委員 問題用紙には、A問題とB問題と両方入っているのか。

高校教育課長 A問題を選択した各高校や学科は、A問題しか入っていない。B問題を選択  
した高校や学科はB問題しか入っていない。選択するような両方の問題が入っ  
ていることはない。

吉井委員 英検加点を含めて100点を上限としたことを、議会では理解を得ているよ  
うであるが、その後意見があるか。

高校教育課長 8月4日に議会に説明をしたが、その後意見はない。

教育長 中学校で履修した範囲で100点取れるということで、議会に理解を得た。

清川委員 選択問題の配点が15点から25点と幅があるのはなぜか。

高校教育課長 問題数や設問数によって点数が変わってくるため。

吉井委員 考えを論理的に説明する問題や資料やグラフを多面的に分析、考察する問題が入試問題に入ることは、周知しているのか。

高校教育課長 中学校長会で説明し、周知している。

学校教育幹 記述や論述の問題を増やしてきて5年がたつ。これは学習指導要領が変わってきたので、入試問題も思考力や表現力、判断力を問うような問題になってきた。中学校での授業を反映した入試問題になってきた。

西野委員 いままで、入試問題の傾向などについて、事前に保護者などから問い合わせがあったか。

高校教育課長 現時点では問い合わせはない。

西野委員 英検加点などの新しい高校入試制度について、しっかり生徒や保護者に伝わるのか。

高校教育課長 中学校に対してはしっかり説明をし、生徒や保護者にもしっかり周知を図ってほしいとお願いをする。

教育長 A問題とB問題と別れて、B問題はいままで以上に難しくなるのか。

高校教育課長 B問題がよりいっそう難しい問題になることはない。出題される範囲は違うが、例年と同程度の問題である。

清川委員 数学や英語以外で選択問題の導入はあるのか。

高校教育課長 2014年度入試から記述・論述型の問題を増やしてきたが、空欄が多く見受けられた英語や数学の2教科について導入することになった。他の3教科については無解答が少ない。

教育長 第9号議案について、原案のとおりとすることについて御異議ありませんか。

————承認する————

教育長 本日の会議の終了を宣言

6 閉会宣言 午後2時40分